

# Nara Women's University

Vol.019

メタデータ	<p>言語: Japanese</p> <p>出版者: 奈良女子大学社会連携センター産学官連携推進部門</p> <p>公開日: 2008-06-27</p> <p>キーワード (Ja): (財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団, アグリビジネスフェア, シーズ集, バイオビジネスコンペJAPAN, ユニフォーム基礎研究助成, 関係府省合同地域科学技術政策説明会, 骨粗鬆症財団研究助成, 細胞科学研究財団, 財団法人第一住宅建設協会, 産学官連携推進, 産学官連携推進室, 全労済協会, 奈良女子大学研究紹介集</p> <p>キーワード (En):</p> <p>作成者: 社会連携センター</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属:</p>
URL	<p><a href="http://hdl.handle.net/10935/480">http://hdl.handle.net/10935/480</a></p>



後期授業が始まりました。10月は、オープンキャンパスに、学園祭と学内雰囲気がいざやかになります。先月までの暑さとはうってかわり、朝方は肌寒いと、季節の変わりめですね。体調を崩されませんように、気をつけてください。

## 1. アグリビジネスフェアでの出展パネルを募集いたします。

今年度も「アグリビジネス創出フェア」が12月16日(金)に大阪国際会議場で開かれます。農林水産省と産や学の距離が非常に近く、産学官連携推進室では重点フェアとして位置づけております。連携推進室で1ブース確保しておりますので、昨年並みパネル8枚から10枚程度のシーズ紹介を行いたいと思います。お問い合わせは産学官連携コーディネーター藤野 c-fujino@cc.nara-wu.ac.jp までお願いいたします。

主催：農林水産省

共催：(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 / (独)農業生物資源研究所 / (独)農業環境技術研究所 / (独)農業工学研究所 / (独)食品総合研究所 / (独)国際農林水産業研究センター / (独)森林総合研究所 / (独)水産総合研究センター / (社)農林水産技術情報協会 / (財)食品産業センター / (独)家畜改良センター / (独)水産大学校

後援：(社)日本経済団体連合会 / 全国農学系学部長会議 / 日経BP社 / バイオビジネスコンペJAPAN実行委員会 / フジサンケイビジネスアイ

## 2. ★研究紹介集・シーズ集2005★の原稿募集を開始します。

「奈良女子大学研究紹介集・シーズ集」もすでに2回(2004年3月、2005年3月)発行いたしました。今年度は、母校で教育実習を行う学生さんが大学案内とともに「研究紹介集・シーズ集2004」を高等学校へお渡ししていただいたようです。本学のこの冊子は、ほぼ全学の教員の方に研究紹介シートを載せていただいております。産学官連携のみならず広くご活用いただいております。教員の皆様には産学官連携推進室コーディネーターより個別に依頼がいきますが、本紙面をお借りして一言だけお願い申し上げます。

1, 2冊目ともに全く同じ研究シートでご提出いただいております方につきましては、3冊目となります本誌には新規事項の追加などによりシートの改訂をお願いします。

研究シート提出最終期限 12月31日

研究シート提出対象者 2006年3月15日に奈良女子大学に在籍されている教員

## 3. 各種公募案内

財団法人 細胞科学研究財団 平成18年度研究助成募集要項

<http://www.shionogi.co.jp/zaidan/>

【助成金額】 1件300万円 10件以内(期間1年間)

【公募時期】 平成17年9月1日(木)~平成17年11月4日(金)(必着)

【応募要件】 応募時満45才未満の独立した研究者。

【対象分野】 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定致します。(1) siRNA・基礎と臨床 (2) 転写因子・基礎と臨床

11-12月募集締め切りの  
公募事業特集号!

【問い合わせ】 財団法人 細胞科学研究財団 TEL : 06 - 6202 - 2139 FAX : 06 - 6202 - 1996

## 財団法人 第一住宅建設協会 平成17年度研究助成募集

<http://group.dai-ichi-life.co.jp/d-housing/boshu.html>

住生活の改善向上をはかるための研究について助成し、併せて若手研究者の育成および学術研究の発展に寄与することを目的とします。助成は「一般研究」、および若手研究者向けの「奨励研究」の2種類に分けて行います。

【助成金額】 「一般研究」150万円以内、「奨励研究」80万円以内（総額1000万円以内）

【公募時期】 ~平成17年11月15日（火）（必着）

【応募要件】 「一般研究」大学、その他の研究機関に常勤で在籍し、研究活動に従事している研究者  
「奨励研究」同上。ただし、申請書の提出期限日において40歳未満の若手研究者。なお、非専任の研究助手、オーバードクターで日本学術振興会特別研究員等も対象となります。いずれも、日本に在住する研究者とし、大学院生、専攻科生などは対象となりません。

【対象分野】 わが国の住宅、都市、土地に関し、経済、社会、法律、歴史、制度、計画およびこれらの複合的視点から、住生活の改善向上をはかるための研究を助成の対象とします。研究の対象を「外国」とすることはかまいませんが、主題はあくまでも「わが国の住生活の改善向上をはかるための研究」として下さい。

【問い合わせ】 財団法人 第一住宅建設協会 TEL : 03 - 5221 - 5826

## 第6回 バイオビジネスコンペJAPAN 開催概要

<http://mic.e-osaka.ne.jp/biocompe/>

わが国バイオ産業の振興のため、大学、研究機関の研究シーズを活用し、バイオベンチャーの起業、ビジネスシーズ発掘、企業への技術移転、産学共同研究の推進、を目指す。

【賞金】 最優秀500万円×2件程度 優秀100万円×5件程度 協賛企業特別賞、バイオ先端知賞

【公募時期】 2005年11月15日（火）

【応募要件】 バイオ関連分野のビジネスシーズを基にしたビジネスプランを持っている法人、個人（国公立大学、研究機関、企業、バイオベンチャー、および研究者）

【対象分野】 バイオメディカル：バイオサイエンス：アグリバイオ：ナノバイオ：環境バイオ

【問い合わせ】（バイオビジネスコンペJAPAN実行委員会 TEL 06 - 6920 - 3760）

## (財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団学術研究募集

<http://www.descente.co.jp/ishimoto/>

当財団の研究助成の大きなねらいは、いわゆる高度にアカデミックなものというより現実に役立たせ得る研究に焦点をおいているということと、明らかな疾病に対する運動療法的なものよりも健康者もしくは半健康者の積極的な健康増進を意図するものを優先する立場をとっていることです（研究募集より抜粋）。

【公募時期】 平成17年11月10日（当日消印有効）

【対象分野】 スポーツ関連科学に関する学術的研究を奨励・援助し、健全な体育、スポーツの振興・発展に寄与するという財団の主旨に添った研究（自由課題学術研究、もしくは財団が研究課題としているテーマ「スポーツによりヒトの日常生活をどこまで活性化できるか」に関する研究）

【対象団体】 健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツに振興に寄与する学術研究に関する講座を持った大学に所属する個人又はグループ

【助成金額】 平成17年度実績は研究助成金総額1,240万円 合計助成件数25件

【問い合わせ】 <http://www.descente.co.jp/ishimoto/>  
申請書はB4サイズで使用して下さい。

## 平成18年度骨粗鬆症財団研究助成

<http://www.jpof.or.jp>

本財団は、人口の高齢化に伴い急増する骨粗鬆症についての知識の普及啓発、調査研究の助成奨励及び内外の情報収集の事業を行い、骨粗鬆症により生じる寝たきり老人等の発生を減少させ、もって国民保健の向上及び老人福祉の増進に寄与することを目的として設立されたものであります

【公募時期】平成17年10月1日(土)～平成17年11月30日(水) 必着

【対象分野】指定課題 本年度は募集なし  
一般課題 骨粗鬆症に関するものであれば特に指定なし

【対象団体】同一テーマにて他財団からの助成を受けていない単独研究 もしくは共同研究

【助成金額】1件につき80万円(5題採択予定) 1講座につき申請は1テーマまで。

【問い合わせ】<http://www.jpof.or.jp>

## 全労済協会2005年度委託調査研究公募

<http://www.zenrosaikyoukai.or.jp/>

勤労者の福祉向上とその発展寄与することを目的に、勤労者福祉・国民福祉の向上にかかわる幅広い分野での、先見性のある視点による提言を含んだ調査研究を募集し実施します。また、その成果を発信し、質の高い情報提供活動を行います。-募集要項より抜粋-

【公募時期】2005年11月18日

【対象分野】A. 2007年問題について  
B. 地域コミュニティーの(再)構築について

【対象団体】・学校教育法に基づく大学及び同付属研究機関、民間の研究機関に所属する研究者  
・大学院博士課程在籍者(共同研究の場合は3名以内で代表者を定めること)

【助成金額】400万円(3件以内採択予定)

【研究期間】2005年12月～最長2年

## 平成17年度「ユニフォーム基礎研究助成」

<http://www.cfd.or.jp/nuc/>

【対象分野】ユニフォームに求められる要素(機能性、審美性、象徴性、経済性、安全性、識別性などに関する基礎研究  
この基本テーマを前提として、以下のサブテーマに基づき、募集研究テーマの参考例を参考にし、応募してください

- 研究分野1 省エネ・リサイクルなど環境問題に関連するユニフォーム研究
- 研究分野2 個人情報・セキュリティに関連する研究
- 研究分野3 防災に関連するユニフォーム研究
- 研究分野4 ユニフォームの色彩、デザイン、素材に関する研究
- 研究分野5 人間工学アプローチからのユニフォーム研究

【対象団体】・ユニフォームに関する諸研究全般に取り組んでいる個人及びグループ

【助成金額】1件につき30万円から50万円(2～3件採択予定)

学内ホームページでも研究協力課より随時案内が掲載されております。

平成17年度研究助成等公募一覧

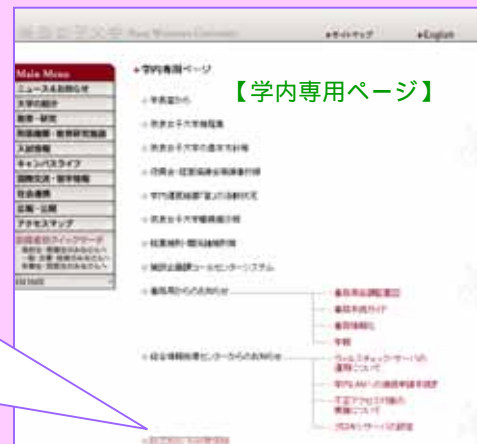
<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/josei.html>

平成17年度共同研究公募一覧

<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kyoudou.html>

平成17年度その他公募一覧

<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/koubo.html>



## 4. 会議出席報告

### 関係府省合同地域科学技術政策説明会

10月7日に、大阪国際会議場で開かれました「関係府省合同地域科学技術政策説明会」に出席しました。特筆すべきことのみ以下にあげております。なお、説明会冊子は研究協力課で保管しております。

**経済産業省**：「地域の特性を生かした技術開発等の推進」に対し、平成18年度概算要求593.8億円（平成17年度実績333.9億円）例年より2ヶ月前倒しで公募がかかることに注意！なかでも、産学官共同による実用化技術開発の支援では「**地域における産学官コンソーシアムによる研究開発**」に223.9億円（同137.2億円）と比重が高くなっている。

**総務省**：e-Japan 戦略の結果、2005年までに日本における通信速度あたりのブロードバンド料金は世界の中でも最も安価となった。これからフロントランナーとして世界最先端のIT国家であり続けるために「u-Japan」政策を実施する。ユビキタスネット社会のために安心安全プログラム（サイバー攻撃や大規模災害にもダウンしないICTインフラの実現など）や知的創発プログラム（高度コンテンツ創造流通など）を推進する。

**文部科学省**：都市エリア産学官連携推進事業において、平成18年度新規実施地域については、地域の自立性を高めるため、地域の資金管理が必要なマッチングファンド方式に移行する。

**農林水産省**：飼料自給率の向上のため、新規予算9億円計上。アグリバイオ実用化・産業化研究に28.3億円（平成17年度実績9.8億円）と大幅増加。産学官連携による研究成果の産業化・実用化促進事業経費も5倍増となっている。

## 5. 今後の予定

- 10月25日 産学官連携推進室会議（学内）
- 10月27 - 28日 南都銀行ビジネスフェア（奈良女子大学 産学官連携推進室 ブース出展有）
- 11月12 - 13日 大和郡山市商工フェア（奈良女子大学 産学官連携推進室 ブース出展有）
- 11月30日 関係府省合同研究開発支援制度説明会
- 12月 2日 産業技術総合研究所 産学官連携コーディネータ 太田公廣氏 講演会
- 12月16日 アグリビジネス創出フェア（奈良女子大学 産学官連携推進室 ブース出展有）
- 12月31日 研究紹介集・シーズ集の研究紹介シートご提出しめきり

## 6. コーディネーターお勧め紙ファイル

国際交流センター製作（産学官連携コーディネーター協力）の紙ファイルは、部局名が入っていない全学仕様となっております。小数の資料やパンフレットを学外の方にお持ち帰りいただくときにお勧めです。内側に名刺の入る切り込みもあります。必要部数を事前に連絡するといただけますよ。

